

# ○○システム構築プロジェクト

## - 命名規則 -

第 1.0 版

作成日	2020 年 10 月 1 日
作成者	XXXX XXXX
承認者	XXXX XXXX

## 〇〇システム構築プロジェクト 命名規則 第 1.0 版

No.	版	更新日	更新者	更新内容
1	1.0	2020/10/1	山口 慎二	初版
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

## 目次

命名規則の目的について.....	3
システム名およびサブシステム名について .....	4
各業務を識別する業務 ID について .....	5
各機能を識別する機能 ID について .....	6
各処理手順を識別する処理機能 ID について .....	7
各画面を識別する画面 ID について .....	8
各機能の項目ラベル ID について .....	9
エラーやワーニングなどのメッセージ ID について .....	10
各帳票を識別する帳票 ID について .....	11
各ファイルを識別するファイル ID について .....	12
各外部インターフェースを識別する外部インターフェース ID について .....	13
各エンティティを識別するエンティティ ID について .....	14
各システムメールを識別するメール ID について .....	15
各ワークフローを識別する ID について.....	16
各権限ロールを識別する ID について .....	17
各テーブル名とビュー名について .....	18
各テーブル項目名とビュー項目名について .....	19
画面仕様書における項目名について.....	21

## 命名規則の目的について

命名規則を設ける目的は、当該プロジェクトで扱う各種項目名称に一定のルールを設けることで各種設計書の可読性を良くすることにあります。

例えば、システム ID、機能 ID、画面 ID、帳票 ID といったものを定めることで、どの機能がどのシステムに関わる機能であるかを判別できるようにします。  
このような工夫をしておくことで、設計書を参照する際に各 ID がインデックスとなって該当機能の記述を探しやすくなります。

社員コードの採番ルール等については命名規則ではなく、ビジネスルールやアプリケーション仕様として定義します。  
ここではあくまでも設計を進める上で必要なドキュメントやテーブル設計における名称のルールを定義します。

## システム名およびサブシステム名について

当該システムのシステム名称、サブシステム名称は以下のとおり定義します。

### システム名

システム名称	説明
〇〇システム	※ 当該システムの簡易説明を記載

### サブシステム名

システム ID	名称	説明
A	〇〇システム	※ 簡易的な説明を記述します。
B	購買発注	社内で利用する消耗品等の発注業務を行うためのシステム
C	請求書管理	各種請求書の発行業務を行うためのシステム
D		
E		
F		
G		

※ 特にサブシステムが無い場合はシステム名に対しシステム ID を採番します。

## 各業務を識別する業務 ID について

当該システムに登場する各種業務について、識別する ID を以下のとおり定義します。

サブシステム単位と業務単位が一致する場合はシステム ID を業務 ID とします。

サブシステム単位で業務毎に機能が分かれる場合は業務 ID を定義します。

### 業務 ID の構成

システム ID	連結子	業務シンボル	採番例
A	(なし)	B	AB

### 業務シンボル

ID	業務名	説明
A	〇〇業務	※ 簡易的な説明を記述します。
B	例：備品調達業務	社内で利用する消耗品等の発注業務
C		
D		
E		
F		
G		

## 各機能を識別する機能 ID について

当該システムに登場する機能について、機能 ID は以下のとおり定義します。  
主に機能一覧で利用します。

### 機能 ID の構成

業務 ID	連結子	機能シンボル	連番 4 桁	採番例
A	—	S	0001	A_S0001

### 機能シンボル

機能シンボル	機能分類	説明
S	画面入出力	社員一覧や社員情報入力・閲覧など画面機能を表す
R	帳票出力	申請書の出力など帳票出力機能を表す
F	ファイル入出力	CSV ファイルの出力などファイル出力機能を表す(帳票に分類されないファイル)
I	外部インターフェース	外部システムとの連携機能を表す
M	システムメール	システムから送信するメール機能を表す
A	認証、認可	ログイン、ログアウト、ユーザ権限付与等の機能を表す

## 各処理手順を識別する処理機能 ID について

当該システムに登場する各機能の処理手順を識別する処理機能 ID は以下のとおり定義します。

主に機能の処理手順を示す処理機能記述で利用します。

### 処理機能 ID の構成

業務 ID	連結子	処理シンボル	連番 6 桁	採番例
A	—	TRN	000001	A_TRN000001

### 処理シンボル

処理シンボル	処理分類	説明
TRN	機能処理詳細	各種機能における処理詳細を表す



## 各画面を識別する画面 ID について

当該システムに登場する画面を識別する ID は以下のとおり定義します。

主に画面一覧、画面遷移図、画面設計書で利用します。

### 画面 ID

機能 ID	連結子	シンボル	連番 4 桁	採番例
A_S0001	—	SD	0001	A_S0001_SD0001

### 画面シンボル

シンボル	分類	説明
SL	一覧画面	社員情報一覧、組織情報一覧など情報を一覧で表示する画面を表す
SD	詳細画面	社員情報詳細、組織情報詳細など、詳細情報を表示する画面を表す
SP	入力補助画面	社員の所属組織情報を入力する際に利用する対象情報検索用のポップアップ画面などを表す

※ 帳票、ファイル、外部インターフェースと被らないようにシンボルを設定します。

## 各機能の項目ラベル ID について

当該システムの各機能における項目名称を識別する項目ラベル ID は以下のとおり定義します。  
主に項目ラベル一覧、画面設計書で利用します。

### システム共通で利用する項目ラベル ID の構成

共通シンボル	連結子	項目名	採番例
SYSCOMMON	—	submit	SYSCOMMON_submit

### サブシステム共通で利用する項目ラベル ID の構成

システム ID	連結子	共通シンボル	連結子	項目名	採番例
A	—	COMMON	—	employee_name	A_COMMON_employee_name

### 機能固有で利用する項目ラベル ID の構成

機能 ID	連結子	項目名	採番例
A_S0001	—	employee_name	A_S0001_employee_name

- ※ 項目ラベル ID とは、表示する文言に共通の ID を紐づけることで多言語対応できるようにしたものです。設計書の記述においてラベル名を一元管理する場合にも役立ちます。
- ※ システム全体で利用するメッセージは共通で定義します。
- ※ サブシステム共通・機能固有のメッセージはそれぞれ固有 ID を定義します。
- ※ 採用する多言語方式にルールがある場合はそれに従います。

## エラーやワーニングなどのメッセージ ID について

当該システムで画面に表示するエラーやワーニング、インフォメーション等のメッセージを識別するメッセージ ID は以下のとおり定義します。  
主にメッセージ一覧、画面設計書で利用します。

### システム共通で利用するメッセージ ID の構成

共通シンボル	連結子	シンボル	連番 6 桁	採番例
SYSCOMMON	—	E	000001	SYSCOMMON_E000001

### サブシステム共通で利用するメッセージ ID の構成

システム ID	連結子	共通シンボル	連結子	シンボル	連番 6 桁	採番例
A	—	COMMON	—	E	000001	A_COMMON_E000001

### 機能固有で利用するメッセージ ID の構成

機能 ID	連結子	シンボル	連番 6 桁	採番例
A_S0001	—	E	000001	A_S0001_E000001

### メッセージシンボル

シンボル	説明
<b>E</b>	エラー
<b>W</b>	ワーニング
<b>I</b>	インフォメーション

## 各帳票を識別する帳票 ID について

当該システムで扱う帳票を識別する ID は以下のとおり定義します。

主に帳票一覧、帳票仕様書で利用します。

### 帳票 ID

機能 ID	連結子	シンボル	連番 4 桁	採番例
A_S0001	—	R	0001	A_S0001_R0001

### 帳票シンボル

シンボル	分類	説明
R	帳票全般	帳票全般を表す

## 各ファイルを識別するファイル ID について

当該システムで扱うファイルを識別する ID は以下のとおり定義します。

主にファイル一覧、ファイル仕様書で利用します。

### ファイル ID

機能 ID	連結子	シンボル	連番 4 桁	採番例
A_S0001	—	TF	0001	A_S0001_TF0001

### ファイルシンボル

シンボル	分類	説明
TF	テキストファイル全般	txt, csv, tsv などのテキストファイル全般を表す
BF	バイナリファイル全般	docx, xlsx, pptx, pdf などのバイナリファイル全般を表す

## 各外部インターフェースを識別する外部インターフェース ID について

当該システムで扱う外部インターフェースを識別する ID は以下のとおり定義します。

主に外部インターフェース一覧、外部インターフェース仕様書で利用します。

### 外部インターフェース ID

機能 ID	連結子	シンボル	連番 4 桁	採番例
A_S0001	—	EXI	0001	A_S0001_EXI0001

### 外部インターフェースシンボル

シンボル	分類	説明
<b>EXI</b>	外部からの入力インターフェース全般	外部システムからの入力インターフェース全般を表す
<b>EXO</b>	外部への出力インターフェース全般	外部システムへの出力インターフェース全般を表す

## 各エンティティを識別するエンティティ ID について

当該システムで扱うエンティティを識別する ID は以下のとおり定義します。

主に要件定義時におけるエンティティ一覧、エンティティ仕様書、ならびにテーブル一覧、テーブル定義書、ビュー一覧、ビュー定義書で利用します。

### エンティティ ID

先頭シンボル	連結子	シンボル	連番 6 桁	採番例
(なし)	(なし)	E	000001	E000001

### 先頭シンボル ※ システム規模に応じて利用

シンボル	分類	説明
システム ID	各種サブシステム固有	各種サブシステム固有で利用するエンティティを表す
COM	システム共通	システム共通で利用するエンティティを表す

### エンティティシンボル

シンボル	分類	説明
E	エンティティ全般	エンティティ全般を表す

## 各システムメールを識別するメール ID について

当該システムで扱うシステムメールを識別する ID は以下のとおり定義します。

主にシステムメール一覧、システムメール定義書で利用します。

### システムメール ID

機能 ID	連結子	シンボル	連番 4 桁	採番例
A_S0001	—	MS	0001	A_S0001_MS0001

### システムメールシンボル

シンボル	分類	説明
MS	送信メール全般	送信メール全般を表す
MR	受信メール全般	受信メール全般を表す



## 各ワークフローを識別する ID について

当該システムで扱うワークフローを識別する ID は以下のとおり定義します。  
主にワークフロー定義書で利用します。

### ワークフローID

機能 ID	連結子	シンボル	連番 4 桁	採番例
A_S0001	—	WF	0001	A_S0001_WF0001

### システムメールシンボル

シンボル	分類	説明
WF	ワークフロー全般	ワークフロー全般を表す

## 各権限ロールを識別する ID について

当該システムで扱う権限ロールを識別する ID は以下のとおり定義します。  
主にアプリケーション仕様書で利用します。

### ロール ID

シンボル	連番 4 桁	採番例
ROLE	0001	ROLE0001

### システムメールシンボル

シンボル	分類	説明
ROLE	ロール全般	ロール全般を表す

## 各テーブル名とビュー名について

当該システムで扱うテーブル名、ビュー名は以下のとおり定義します。

### テーブル名

先頭シンボル	連結子 1	名称	連結子 2	末端シンボル	名称例
(なし)	(なし)	employee	—	mst	employee_mst

※ 名称と連結子 2 のセットは繰り返し利用可能とします。例えば affiliation\_organization\_mst など。

### 先頭シンボル ※ システム規模に応じて利用

シンボル	分類	説明
システム ID	各種サブシステム固有	各種サブシステム固有で利用するテーブルを表す
COM	システム共通	システム共通で利用するテーブルを表す

### 末端シンボル

シンボル	分類	説明
mst	マスタ	各種マスタデータを管理するテーブルを表す
trn	トランザクション	各種トランザクションデータを管理するテーブルを表す
tmp	テンポラリ	一時的に利用するデータを管理するテーブルを表す
v	ビュー	各種ビューを表す

## 各テーブル項目名とビュー項目名について

当該システムで扱う項目名は以下のとおり定義します。

### 項目名

名称	連結子	シンボル	名称例
employee	—	cd	employee_cd

※ 名称と連結子のセットは繰り返し利用可能とします。例えば affiliation\_organization\_cd など。

### シンボル

シンボル	分類	データ型	説明
cd	コード	string	固定長または可変長のコード項目を表す。
id	ID	big integer	サロゲート ID のような数字のみの ID 項目を表す。
uuid	UUID	string	UUID 項目を表す。
num	No	string	「000001」のようなゼロ詰め等で使う数字ナンバー項目を表す。
seq	シーケンス	big integer	1,2,3,...n とインクリメントして利用する数値項目。
name	名称	string	名称項目を表す。
title	タイトル	string	タイトル項目を表す。
remarks	備考	string	備考項目を表す。
type	種類	string	種別や種類項目を表す。
div	区分	string	区分項目を表す。例えば消費税における課税、非課税、免税、不課税など。
status	ステータス	integer	状態項目を表す。
flg	フラグ	integer	0,1 で状態を表現するフラグ項目を表す。例えばオン、オフや削除、非削除など。

[illegible]

## 画面仕様書における項目名について

画面仕様書における項目名について記述例を定義します。

基本的に画面の各要素にわけて記述しますが、チェックボックスやラジオボタンのように複数の選択肢から値を選ぶ入力については、グループ単位で一つの項目として記述します。

内訳の選択肢については画面項目定義の備考あるいは編集仕様に記載します。

### 【テキスト入力例】

社員コード

No.	項目名	項目種別	項目ラベル ID	タブ順	I/O	データ型	表示タイミング	横位置	縦位置	備考
1	社員コード	label		-	O	-		left	top	
2	社員コード	text		10	I	string		left	top	

### 【コンボボックス入力例】

消費税区分  ▼ 非課税

No.	項目名	項目種別	項目ラベル ID	タブ順	I/O	データ型	表示タイミング	横位置	縦位置	備考
1	消費是区分	label		-	O	-		left	top	
2	消費税区分コード	combobox		10	I	string		left	top	
3	消費税区分名	label		-	O	-		left	top	

## 〇〇システム構築プロジェクト 命名規則 第 1.0 版

【カレンダーなどの入力補助付き項目の例】

契約予定日

契約期間   ~

No.	項目名	項目種別	項目ラベル ID	タブ順	I/O	データ型	表示タイミング	横位置	縦位置	備考
1	契約予定日	label		-	O	-		left	top	
2	契約予定日	text		10	I	string		left	top	
3	契約予定日入力補助	calendar		20	I/O	-		left	top	
4	契約期間	label		-	O	-		left	top	
5	契約開始日	text		30	I	string		left	top	
6	契約開始日入力補助	calendar		40	I/O	-		left	top	
7	~	label		-	O	-		left	top	
8	契約終了日	text		50	I	string		left	top	
9	契約終了日入力補助	calendar		60	I/O	-		left	top	

【ラジオボタン、チェックボックスなどのグループ項目の例】

☐ 作成中 ☐ 申請済み ☒ 承認済み ☒ 差戻 ☒ 否認

☐ 未決算 ☒ 決算済み

No.	項目名	項目種別	項目ラベル ID	タブ順	I/O	データ型	表示タイミング	横位置	縦位置	備考
1	申請ステータス	checkbox		10	I/O	string		left	top	コード一覧の申請ステータス参照
2	決算区分	radiobutton		20	I/O	string		left	top	コード一覧の決算区分参照

※ 選択肢は定数またはコードマスタ等で管理を想定

※ データ型はキーと名称のセットのうち、キーのデータ型にあわせて記載(10:作成中, 20:申請済み のようにコードと名称のセットで選択肢が作られている想定)